

つきたい力

- ・必要な情報を資料から探す力
- ・資料から得た情報を整理する力
- ・資料から得た情報をもとに、自分の考えをつくる力

取組みの概要・ポイント

- ・低学年から情報活用能力を育てる活動を系統的に取り入れる。
- ・学校図書館とICTの併用をめざし、調べもの室の整備・選書を行う。
- ・調べた情報を整理し、自分の考えを構築する。

具体的な取組みなど



学校図書館を活用した授業づくり

学校図書館や地域の図書館の資料を利活用した授業のポイント

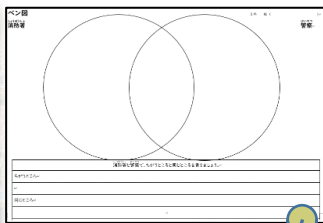
- 学校図書館や地域の図書館を利用して、情報を得るための資料を一人一冊ずつ準備する。
- 資料から得た情報を書くため、情報カードを工夫する。
- 資料から得た情報を整理するために思考ツールを活用する。



	低学年	中学年	高学年
思考ツール	Y字チャート	ベン図・ピラミッドチャート・イメージマップ	クラゲチャート・座標軸・Y字チャート
授業実践例	図鑑の使い方・言葉集め	警察、消防・災害から人々を守る・こん虫のかんさつ	持続可能な社会を作ろう・これからの食料生産・発見、日本文化の魅力



図鑑の使い方を知ること、知りたいことを効率的に調べることができるようになった。



思考ツールを使うことで、情報を視覚的に整理しやすくなり、整理した情報もとに考えを広げることができた。



図書館資料とタブレットの併用が当たり前になり、効率的に情報を集めることができるようになった。

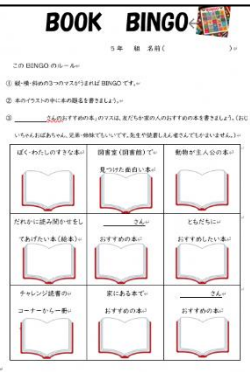
本に親しむ場づくり

各学年の取組み



1年生…様々な動物の絵本を集めて図書室中にコーナーを作って自由に読む、お話動物園という活動を行った。
2年生…1年を通じて季節の言葉を集める活動を行った。

3年生…色々な本に触れてもらうため、教科書に紹介されていた本などを各グループの中で回し読みした。料理の味見のように5分ずつ読み、興味を持った本はあとでじっくり読むようにした。
4年生…リテラチャーサークルを行った。グループで同じ本を読み、役割を決めてその本について詳しく読むようにした。



5年生…BOOK BINGOを行った。友達や家族からのおすすめの本、チャレンジ読書の本などに挑戦する活動を行った。
6年生…並行読書で読んだ宮沢賢治のコーナーを読み物室に作った。单元ごとに教室に関連する本を置いた。

図書委員会の取組み

- チャレンジ読書…長い物語を最後まで読み通す経験をしてほしいということで、低・中・高学年に分けて20冊ずつ長い物語のリストを作り、3冊読めた児童には賞状を渡した。中学年から文庫本も読んでほしいということで、図書委員が文庫本のポップを作り、おすすめコーナーに飾った。

取組みを通しての子どもの変容

- ・「本を読むことが好き」という児童が90%を超え、学校全体に読書を楽しむ雰囲気ができている。
- ・調べ学習をするとき、学校図書館や地域の図書館の資料、タブレットがあることが当たり前の環境を作ること、調べることの楽しさを感じられるようになってきている。
- ・調べもの室を使うことが増え、学校図書館が学習センター・情報センターとして認識されるようになってきた。

アンケート項目	R4	R5	R6
本を読むことが好き	88.0%	87.2%	90.8%
学校図書館での学習や本や資料を使って調べることは楽しい。	70.3%	68.9%	70.6%